

令和2年度「愛の血液助け合い運動」実施要綱

1 目的

すべての血液製剤を献血により確保する体制を早期に確立するため、広く県民各層の間に献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に、継続的な推進が必要な成分献血・400mL献血への協力と血液製剤の適正使用への協力を求め、献血運動の一層の推進を図ることを目的とする。

2 期間

令和2年7月1日から8月31日までの2ヶ月間

3 主催

愛媛県、愛媛県市長会、愛媛県町村会、愛媛県献血推進協議会
日本赤十字社愛媛県支部、愛媛県赤十字血液センター

4 実施事項

(1) 県における実施事項

ア 各種広報手段の活用

県の広報（ホームページ等）及び、各種広報機関を十分活用する。

イ ポスター等の掲示及び資料の作成・配布

厚生労働省から配布されるポスター等を関係団体等に配布し、県民の目につきやすい場所への掲示等を依頼する。また、啓発資材として高校2、3年生を対象とした献血啓発リーフレットを作成し、配布する。

ウ 献血推進キャンペーン等の開催

若年層に対する参加型の献血推進啓発活動として「愛顔の高校生献血推進会議」を開催（※）し、献血の正しい知識や必要性の啓発を行う。※中止決定
また、血液センターが主催するイベントの開催に協力する。

エ 表彰等の実施

献血運動の推進に関し積極的に協力し、他の模範となる実績を示した団体及び個人に対して、厚生労働大臣表彰状及び感謝状の伝達式並びに知事感謝状の贈呈式を行う。

オ 血液製剤の適正使用の推進

血液センターほか関係機関と連携を図り、県内医療機関に対して血液製剤の適正使用についての理解と協力を求める。

カ 複数回献血の推進

血液センター内に設置されている複数回献血者を構成員とする複数回献血クラブの推進・運営に協力する。

(2) 保健所及び市町における実施事項

ア 啓発宣伝

県及び血液センター等から配布される各種啓発資料及びそれぞれの保健所や市町の実情に即して作成した広報資料等を会社、工場、学校、病院、駅、各種団体及び地域組織等へ配布し、県民の目につきやすい場所への掲示等を依頼する。

また、有線放送の活用等により、本運動の趣旨の普及徹底を図る。

イ 各種催し物の開催

地区献血推進協議会を開催し、地域における広報及び計画的な採血並びに献血組織の強化等について協議し、地域ぐるみの献血推進体制の確立を図る。

また、講演会、座談会等地域の実情に即した行事を行い、県民に対して血液に関する正しい知識の普及に努めるとともに、献血に関する理解と協力を求める。

(3) 日本赤十字社愛媛県支部及び愛媛県赤十字血液センターにおける実施事項

ア 広報機関等による啓発宣伝

日本赤十字社から配布される各種啓発資料及び自ら作成した効果的な広報資料等を会社、工場、学校、病院、駅、各種団体及び地域組織等へ配布し、県民の目につきやすい場所への掲示等を依頼することにより、本運動の趣旨の普及徹底を図る。

イ 献血推進キャンペーン等の開催

講演会、座談会その他効果的な献血推進キャンペーン等を実施し、県民に対して血液に関する正しい知識の普及に努めるとともに、献血に関する理解と協力を求める。

ウ 複数回献血の推進

複数回献血者を構成員とする複数回献血クラブにより、情報誌の配布、健康相談の実施等、サービスの提供を行うよう努める。

エ 街頭献血の強化

本運動期間中、青年赤十字奉仕団等の協力を得て、街頭献血を積極的に実施する。